



實現しそいな私の理想

中國石膏株式會社

社長 小松哲精

最近東京の目抜の街を歩いて誰しも氣付くことは、人の多いことと大小色とりどりの自動車の洪水であらう。

これに加えて高層建築が八階九階とその高さを競うように誇らし氣に下界を見下して屹立する姿は一寸頼もしい感じがしないでもないが、その間に押潰されたように古ボケたバラック建の平家や精々二階建と覺しきものが強い色彩の看板を掲げて競り合っている有様が一と際われわれの神經を刺激して、今更敗戦の痛手の生んだアンバランスに思いが滅入る。

私は常日頃都市の建築様式は立體的なものに發展すべきものであると考へておる。殊に自分の仕事に關係しておるので我田引水の嫌があるかも知れないが、その上セメントを使つた不燃性のものである事が第一條件である。

私の理想とするところは、安いセメントを造つて都市の重要な區域の木造建築を一掃する事である。古來日本固有の文化が木造建築を通して大きく培われたことは事實で、その後西洋文化の影響で我國でも漸次生活様式に變化を生ずると共に建築の様式も之に従つて著るしい變遷があつた。加之日本は敗戦を契機として急に領土が狭まり、その反面住民は狭い國土に奔めき合うと云う、いとも悲惨な状態に追込まれ曾てない困難に直面するに及んで傳統的な古い型の生活の様式を一變して極度に合理化すべき必要に迫られて來たが、その影響は直ちに一般住宅にもおよび漸次集團的なアパート式に移行せざるを得ない状態となりつゝある次第であるが、この新しい都市の建設には強力な政治力の發揮を必要とすると共に國民は擧つて從來の古い習慣を放擲して之に協力する決意を必要とすることは勿論である。

木材夫れ自體の性質を觀ても可燃性で腐蝕し易く強度も低く、かつこれが成育して用材として使用に耐え得らるる迄には極めて長期間を要すると云う大きな缺點を有するのみならず、國土治水の觀點からは灌漑用、水道用の水源地帯の保護或は電源地帯の水源涵養の建前から最近森林としての新に重要な意義が急速に加わつて來た爲め、木材の有効利用の面も従前と比較して非常に變つて來

日本鑛業協會誌(第五卷第九號)

九月號目次

(卷頭言)

☆實現しそいな私の理想……………小松哲精…一

☆鑛山業資本と

デブリーション……………高瀬莊太郎…三

☆世界の銅況概観……………渡部亮…七

☆忘れられたる鐵鑛……………久留島秀三郎…三

☆吉乃鑛山に於ける「ハンフレースパイラル」

選鑛機の活用に就いて……………服部孝太郎
木内昭男…二五

☆加工用金制度の實施と金の

プレミアム市場の將來……………H・ブラッター…二四

☆IMC銅、亞鉛、鉛委員會昭和27年度前半期

に於ける動きについて……………調査部金屬課…七

(鈹山の科學管理)

☆鑛山と品質管理……………三

☆ケミコ式新製鍊方式……………三

○第四次全國金屬鈹山野球大会……………三

▽「月間の動き」……………三

▽協會だより……………三

▽ニュース……………三

▽資料……………三

【表紙写真】古川鈹業足尾製鍊所オリバーフィルター……………三